

DAISUKE SUZUKI GUITAR CONCERT

鈴木大介 (ギター) *Daisuke Suzuki, Guitar*

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、多岐にわたって常に注目を集める。

1992年、バルセロナのマリア・カナルス国際コンクールで第3位、93年のアレクサンドリア市国際ギター・コンクールでは優勝を果たした。

現代音楽の初演も多く、武満徹「森のなかで」「スペクトラル・カンティクル」の世界初録音を始め、これまで数々の作曲家による新作を初演している。

近年はタンゴやジャズ、また自作によるライブも行い、録音・出版もされた「12のエチュード」他も絶賛された。また多くの名曲のアレンジは好評である。

国立新美術館での「オルセー美術館展」(2010年)、ブリヂストン美術館での「ドビュッシー、音楽と美術展」(2012年)など、美術館でのコンサートも注目された。

30作以上ある斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、『カカロニア讃歌〜鳥の歌／禁じられた遊び〜』は2005年度芸術祭優秀賞を受賞。2011年の西村朗「天女散花」のライブ盤は同年度のレコード・アカデミー賞現代音楽部門を受賞した。2021年9月アールアンフィニ レーベルからの発売の最新作『ギターは謳う My Guitar's Story』では、武満徹編のポピュラーソング集「12の歌」を20年ぶりに再録。

武満徹の映画音楽をギターのためにアレンジするプロジェクトも1999年より継続的に行い、これまでに3タイトルのCD(『どですかでん』『夢の引用』『森のなかで』)を発表している。

自作の楽譜は現代ギター社から発売されているほか、2021年2月には、武満徹没後25周年を記念して、『武満徹 映画とテレビ・ドラマのための音楽 鈴木大介によるギター編曲作品集』が日本ショットより出版。

横浜生まれ。洗足学園音楽大学客員教授。ギターを市村員章、福田進一、尾尻雅弘の各氏に、作曲を川上哲夫、中島良史の両氏に師事。ほかに、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院においてエリオット・フィスク、ホアキン・クレルチの両氏に師事。

第10回出光賞、第56回芸術選奨新人賞を受賞。

公式ウェブサイト <https://www.daisukesuzuki.com/>

ブログ <http://daisukesuzuki.at.webry.info/>



© Nobuo MIKAWA

最新アルバム/好評発売中!

8弦ギターで紡ぐ、ロマン派ギタリスト&作曲家たちの夢のまほろば!



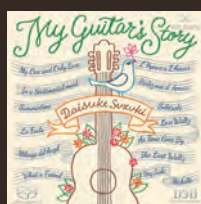
鈴木大介/浪漫の薫り

[SACD Hybrid]MECO-1078 [アールアンフィニ] ¥3,850 (税込)

●シューベルト:音楽に寄せて/アヴェ・マリア/子守歌 ●シヨバン:マズルカ第1番Op.6-1/第2番Op.6-2/第3番Op.6-3/第4番Op.6-4/第5番Op.7-1/第6番Op.7-2/第7番Op.7-3/第8番Op.7-4 ●メンデルスゾーン:ヴェネツィアの舟唄第1番Op.19-6/ヴェネツィアの舟唄第2番Op.30-6 ●コスト:ジュラの思い出(アンダンテとポロネーズ) Op.44 ●メルツ:ハンガリー風幻想曲Op.65-1/シヨルホフの思い出(コンサート・マズルカ)/無言歌〜吟遊詩人の歌Op.13より

好評発売中!

全曲ニューレコーディングによる心震える究極のポピュラー名曲集!



鈴木大介/ギターは謳う

[SACD Hybrid]MECO-1064 [アールアンフィニ] ¥3,300 (税込)

●マイ・ワン・アンド・オンリー・ラヴ(ガイ・ウツド) ●イン・ア・センチメンタル・ムード(デューク・エリントン) ●ソリチュード(デューク・エリントン) ●アズ・タイム・ゴーズ・バイ(ハーマン・フツフェルト) ●ラヴ・ワルツ(ウルリク・ノイマン) ●聞かせてよ愛の言葉を(ジャン・ルワール) ●群衆(アンヘル・カブラル) ●愛の讃歌(マルグリット・モノー) ●天使のミロンガ(アストル・ピアソラ) ●ギターのための12の歌(武満徹) ●ラスト・ワルツ(パリー・メイソン&レス・リード)